

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名
生活援助機能	健康の管理・情緒の安定	手洗い、うがい、咳エチケットの徹底 (1)
		健康調査票・体温の確認 (1)
	安全・衛生の確保	おやつ後片付け (1)
		ゴミの分別・環境教育 (1)
		お弁当箱拭 (1)
		来館・帰館時の安全指導 (1)
		避難訓練 (1)
	基本的な生活習慣の確立	自由おやつ (1)
		みんなの会での2クラス制 (1)
		スケジュールボードの活用 (1)
		5時以降の過ごし方 (1)
	社会生活技術の獲得	誕生日のお祝い (1)
		大掃除 (1)
		公園あそびA (1)
		公園あそびB (1)
	子ども育成機能	社会性の養成
班活動B (2)		
3年生会議 (2)		
高学年会議 (2)		
3年生以上会議 (2)		
自立の促進と自主性の尊重		3年生企画 (2)
		旧3年生リベンジ企画 (2)
		こどもマーケット準備
		こどもまつり (2)
		デイキャンプ (2)
		入館式準備リハーサル (2)
		入館式 (2)
		こいのぼりプロジェクト (2)

<p>生活体験の拡大</p>	<p>代休日保育「宝ヶ池」遠足（２）</p> <p>学級担任との懇談（２）</p> <p>観劇&御所遠足（２）</p> <p>お楽しみ映画会（２）</p> <p>朱三代休日保育「二条公園」（２）</p> <p>Bドッジボールフェスティバル（２）</p> <p>お楽しみ会出し物会議（２）</p> <p>お楽しみ会出し物（２）</p> <p>修了式（２）</p>
<p>子育て支援機能</p>	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p> <p>はばたけ発行・コードモン配信（３）</p> <p>ちょこっと配信（３）</p> <p>個人懇談会（３）</p> <p>保護者懇談会（３）</p> <p>キャンプ実行委員会（３）</p> <p>こどもまつり実行委員会（３）</p> <p>たこあげ大会実行委員会（３）</p> <p>お弁当いらないデー（３）</p> <p>卒館式・修了式・茶話会（３）</p>

ラブ事業年間活動報告書

(朱雀第三) 児童館・学童保育所

成 果 と 課 題

<p>来館時の声掛けを手洗い場に立つて行うことで、健康観察にもつながる。うがいを促すことで、マスクを外して子どもたちがホッとするタイミングにもなっている。</p>
<p>家庭の状況もよく見えた。</p>
<p>食べた後にきれいに拭くと言う生活習慣、技術として役に立っているが、だんだん手を抜いてしまう子どもなども出てくる。が、継続しながら、次の人のためにきれいに使うという気持ちを、時折話すことが大切にお弁当、おやつ時の燃えるゴミとプラゴミの分別の声掛けを行い定着してきた。が、職員の中で分別意識に差があり、きちんと分けられない人がいることが課題。</p>
<p>環境教育の一環。毎年スタート時に話をすることで、意味を理解することや、それが習慣となってきた。</p>
<p>横断歩道の立ち番ができておらず、見守り隊の人のみになってしまった。帰宅時の送りの引率は例年通り2コースで行う。突然の帰り方の変更への対応等、場合によっては自宅まで引率が必要なケースもあった。</p>
<p>年間を通じて、地震・火災・水害・不審者のそれぞれにおいて避難訓練を行うとともに、こいのぼりプロジェクト(5月)では、東日本大震災で現地ボランティアに入られた地域の方からお話を聞く機会を持った。</p>
<p>新1年生を迎えて、班単位で食べていたが、慣れてきて短縮授業などもなくなった辺りから自由おやつに切り替え、子どもたち本位の生活を組み立てた。</p>
<p>3年生を中心に遊びなども入れて行っていたが、拘束時間が長くなり、その状態を維持するのが難しい子どもたち、支援のいる子どもたちも多いため、大人主導で必要なことを伝える5分程度の集団帰りの前の時間とした。入るのが難しかった子どもも、短時間だと入ることができるようになった部分もあるが、全員そろうことは難しい。これまで通り柔軟対応しながら、子どもたちの思いと現実に即したやり方を考えていく。</p>
<p>写真を使ったものにすることで確認しているが、やりきれていないことが多く、効果的に使えていない。毎回手書きではなく、いつでも同じ表示になるように以前作ったものを使うようにした。</p>
<p>5時以降に残る子どもが多く、スペース的にも自由あそびメインでは難しい状況がある。宿題など落ち着いてできるように、全体として見直しを行った。</p>
<p>イベントはせず、おやつケーキ(1年生はお店に行って選ぶ)とみんなの会でカード渡しのみとする。その結果子どもたちから自分たちでやってみたいという声が上がリ新年度から生かしてお祝いデーとなった。当日は午後から各班でや代わり分担しながら、大掃除を実施。一生懸命掃除する姿が見られた。仕事の振り分けと道具の数が一部あっていないなど職員側の不手際が見られた。</p>
<p>夏休み、午前中の時間で1回ずつ実施して以降学童クラブとして公園あそびは行えてなかったため、後期は日程を決めて隔週で公園あそびを実施。おやつも持ち帰り可能として、少しでも遊び時間を確保した。狭い空間の中で、子どもたちが外あそびを思いっきりできることは、よかった。</p>
<p>集団あそび、おやつ、おかえりグループと、こどもまつりでは、班を基準にグループ分けをしながら取りくみを行う。1年生に取ってははじめはよりどころとなった。一年間お帰りコースを基盤とした班が生活の基礎となっていたことで、子どもたちにも関係性が分かりやすかった半面、朱三小と光徳小の児童が最後まで別班になっているなど広がり乏しさもあった。</p>
<p>入館式に始まり、誕生日お祝いデーやこどもまつりに向けてなど、年間行事予定に応じて、月に数回会議を行った。それぞれが意見をまとめる事は難しい場面も多かったが、行事ごとに中心メンバーを募って話を進めた。旧3年生リベンジ企画はあつたものの、高学年単体としての取り組みは難しい状況があつたため、児童館の企画に中心に関わる等、児童館の中での高学年の立ち位置を模索するが、実際には、放課後の時間も短く、学童クラブの中での存在感が難しく感じ、生活の中での気になるところ問題点について考える機会を持つた。ふりかえりの時間かなかなかしつかりとれておらず、楽しいことだけでなく困りごとをみんなのものにする、一つひとつ丁寧に返していくような機会をもっと持つ必要がある。</p>
<p>12月から昨年の写真などでイメージを膨らませつつ、3年生企画に向けての会議、準備をスタート。まとまりにくい学年でもあり、核になる代表者を決め、コアメンバーを数回の会議で自薦他薦で決定。役割分担、作業を進める中で少しずつだが集団としての意識、まとまりが出てきた。当日はロゴスランド遠足、児童館宿泊を敢行。みんなで山歩きをして目的地に到着したことで子どもたちの中にひとつの達成感が生まれて、学童を終了した旧3年生も集まり、相談をしてリベンジ企画を行った。びわここどもの国へは行かず、スポーツチャ、マツモトで買い出し、はなの湯、遊んで就寝。翌日は、朝食、掃除、解散とした。これでスッキリし</p>
<p>3年生リーダー、班を中心に、3グループに分かれてこどもマーケット模擬店の準備を行った。集中力も持たないため制作時間はあまり長くないように心掛けながら進めたことで、あぶれるこどもも少なく、みんな当日は各店舗を子どもたちがお店屋さんとなって運営した。緊張していた子どもたちもすぐに慣れて、大きな声で呼び込みをしたり、とても楽しく行うことができた。3年生はさすがにリーダーとしての力を発揮、1・2年生もそれぞれにとっても頑張っていた様子。まつり翌日におやつとジュースで打上げを行った。子ども3年生デイキャンプ企画会議を経て、参加者での会議を行い内容など伝えた。・亀岡七谷川でのデイキャンプは、たくさんの保護者と共に楽しい1日を過ごすことができた。1～3年生の各班と高学年班に分かれて、飯盒炊爨を行い、ようやく子どもたちが活躍できる場の提供ができた。保護者同士の交流も盛んにおこ</p>
<p>プラバンの準備や、当日の流れについての打ち合わせなど3年生が行った <small>可成り3年生、高学年は案内や写真撮影など役割を振り切っていた。役割のない子どもたちは外からアヒールで観望</small></p>
<p>東日本大震災で現地ボランティアとして活動された地域の方にお話を聞いてから、現地の人々を思い浮かべながら子どもたち一人ひとりがメッセージを作成。</p>

朱三小・光徳小の代休日が重なり、遠足を企画。とても楽しい時間だったが、広い場所での遊具は、集団行動に慣れていない時期には難しかった。この時期は植物園のような危険度の低い場所を選ぶか、若しくは、7/26朱三2、3年生学年主任（朱三は、校長より学年主任のみ対応。できれば学校に来てほしいというが、それは無理なので児童館に来てほしいとようやく調整）7/29朱三1年生学年主任との懇談がもてた。学校の働き方改革の前に、なかなか一致して子どもたちの情報を共有することが難しかった。

東部文化会館へ観光バス2台で行く。教えてもらった折り紙は帰ってから楽しんだり、もう一度折ったりして子どもたちに大きく影響を与えていた。御所遊びも木登り、川遊びと自然の中を満喫することができた。

夏休みお楽しみ会の代替案で映画会を実施。上映内容は子どもたちの投票で決定し、楽しい時間が持てた。

JRに乗るという経験を大事に、丹波口から二条までのり徒歩で公園へ。充実して遊んだが、児童の体調不良に関して報告連携ができず、嘔吐対応、タクシーにて帰ることになった。暑さに対しての見方が甘かったところもあり。反省点の共有振り返りを行った。光徳小代休日は雨のため館内で過ごした。

ブロック3館が集まってドッジボールの試合で交流を行った。数少ない他館所との交流は貴重な機会だった。

冬のお楽しみ会に向けての会議を実施。内容などを3年生と一緒に検討した。

冬のお楽しみ会を実施。またその中で、子どもたちは有志で様々な出し物を行う。それぞれに練習や準備をして当日を迎え、子どもたちの表現の場となったことはよかった。

前半卒館式・修了式、後半退会者と保護者との茶話会の2部制。みんなで6年生を送り出すことができた。

学童クラブだより「はばたけがくどうっこ」を、毎月1回発行して、アプリを通じて発信。期日通りに発行でき入館式までのようす等を、はばたけの記事にするよりも簡単に写真のみで発信することを目的にスタートしたが、4月5月の発信にとどまった。3年生企画、リベンジ企画等については、ちょこっと通信とは銘打つけないまでもアプリを通じて子どもたちのようすの発信を行った。

1年生を中心に個人懇談を行った。発達面や生活面で気になる子どもの保護者には個別に声をかけて行うようにした。それぞれの保護者とじっくり話を聞く機会となった。

4月7月12月の計3回実施。第1回は約1時間で年間計画や全体の様子など、2つのクラスに分散して行った。第2回は夏休みについて。お弁当、Tシャツの補助について。お弁当のガラ持ち帰りについて等、夏休みの生活を中心に行った。第3回は後期の予定の確認と、子どもたちの様子などを共有しながら、3年生企画～新年度へのイメージ共有を目指した。参加者がだんだん少なくなることに對して、何か手立てを考えることが課年間計画では9月～10月の実施も考えていたが、熱さや、そのほかのイベントとの兼ね合いで、11月後半に予定をずらす。それに伴い、会議なども9月以降にずれ込む形となった。保護者会実行委員さんに、キャンプ経験のあるメンバーもいらっしたため、イメージを共有しながら、実施に向けて準備に取り組むことができた。保護者会と共催での実施は2年ぶり。子ども、保護者にとっても楽しい時間となった。

ゲームコーナー、自由あそびコーナーや、全体運営に地域の諸団体のみなさんと共に関わる機会。様々な制作物にも力が入っていた。実際にネットワーク会議などにも参加されて、盛大なおまつりを経験し、地域の中で子育てを支える仲間がいることを体感する機会となったのではないかな。

保護者会実行委員会と協力してたこあげ大会参加に向けて準備。今年度は実行委員会の他、連風作りを実施されたため、共に制作に励んだ。

夏休み始業式の8回+冬休み1回、お弁当いらぬデーを実施した。ゴミの持ち帰り等負担軽減策を講じたものの、当日欠席や、発注アンケートの変更などの対応が煩雑になってしまうところが課題。保護者会からの要卒館、退会の保護者を招待して卒館式、茶話会を実施。来館は保護者4名ではあったが、子どもたちの成長を-

きるようにすることが課題。

一緒に喜びあう機会となった。

行事名	実施回数	学童クラブ児童				
		1年	2年	3年	4年	5年
避難訓練 (1)	6回	127	103	93	28	5
誕生日のお祝い (1)	月1	124	105	106	24	12
公園あそびA (1)	7回	52	39	42	9	4
公園あそびB (1)	7回	42	38	47	6	
大掃除 (1)	1回	18	19	18	5	1
3年生会議 (2)	21回			454		
高学年会議 (2)	2回				10	2
班活動 (2)	4回	54	49	48	18	3
3年生企画 (2)	1回			22		
高学年企画 (2)						
こどもマーケット準備 (2)	不定期	220	183	178	36	8
こどもまつり (2)	1回	23	17	21		1
デイキャンプ (2)	1回	23	24	18	6	1
旧3年生リベンジ企画 (2)	1回				9	
入館式準備リハーサル (2)	2回	12	18	42	6	2
入館式 (2)	1回					
		21	20	24	7	2
3年生以上会議 (2)	1回			22	8	1
こいのぼりプロジェクト (2)	1回	25	13	19	4	2
代休日保育「宝ヶ池」遠足 (2)	1回	22	18	24	4	2
観劇&御所遠足 (2)	1回	16	12	14	4	
お楽しみ映画会 (2)	1回	22	18	18	5	1
朱三代休日保育「二条公園」 (2)	1回	19	17	22	3	
Bドッジボールフェスティバル (2)	1回					
		8	8	5	3	
お楽しみ会出し物会議 (2)	1回	3	8	2	4	
お楽しみ会出し物 (2)	1回	19	22	18	3	1
凧作り (2)	不定期	25	18	12	8	1
京都こどもてづくりたこあげ大会	1回	17	6	11	2	
修了式 (2)	1回	13	11	13	5	
個人懇談会 (3)	4月～5月					
保護者懇談会 (3)	3回	7	3	1		
キャンプ実行委員会 (3)	2回	1		2		
こどもまつり実行委員会 (3)	2回	1	2	1		
たこあげ大会実行委員会 (3)	1回	4				
お弁当いらないデー (3)	9回	162	148			
卒館式・修了式・茶話会 (3)	1回					

茅 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告

6年	登録外児童		ボランティア			その他	合 計
	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人		
1	3						360
2							373
							146
							133
							61
							454
		16					28
1							173
							22
							0
							62
		2	2		11	10	97
		6					15
1							81
2							76
2							33
							63
2	2	1		1			76
							46
							64
					1		62
1	2	2			7		36
							17
	6	1	1		2	3	76
							64
		1			50	18	105
1					4		47
					36		36
					93	6	110
					22		25
1		1			18	3	27
					12	3	19
							310
					4		4

書

(朱雀第三) 児童館・学童保育所

内	容
火災・地震についての避難訓練、こいのぼりプロジェクトでの啓発	
お誕生日会の計画、実行に向けての話し合い・役割分担	
夏休みや冬季に地域の公園にあそびに行った	
夏休みや冬季に地域の公園にあそびに行った	
年末に館内の大掃除をみんなで実施	
年間行事等に応じて定期的に会議を実施。	
企画に向けての会議	
班の意識を作るために、名前を決めたり、ポスターを作った。	
3年生で内容を企画し、ロゴスランドへのお出かけと児童館宿泊を行った	
こどもまつり、こどもマーケットに向けての準備	
1～3年生でもぐらたたき、射的、宝探しの3つの店を行った	
デイキャンプの実施（保護者会共催）	
covid-19により実施できなかった現4年生による宿泊企画を実施	
入館式に向けての準備リハーサル	
入館式は、1年生と保護者、役割のある3年生が遊戯室に入り、そのほかの子どもたちは、紹介の時に外から顔を出しアピールした。	
生活の中での気になること問題点について考える機会を持った。	
震災時に現地ボランティアをされた話を聞いて感想を紙に記した。	
2校同日の休みで宝ヶ池に遠足へ行った	
観光バスをチャーターして演劇鑑賞と御所遠足を行う	
夏のお楽しみ会として映画上映会を実施。	
代休日遠足	
ブロック企画行事として御前児童館、洛中児童館とドッジボールを行う。	
冬のお楽しみ会に向けて準備を実施	
みんなが出演者となりながらお楽しみ会を実施	
たこあげ大会に向けて凧作りを実施（保護者会共催）	
たこあげ大会の参加（保護者会共催）	
学童クラブを退会する児童、卒館する児童をみんなで送り出す。	
1年生、新入館生保護者を中心に懇談会を行った。	
年間3回の懇談会を実施した。	
保護者会と共催のデイキャンプに向けて会議を行った	
こどもまつりに向けて、保護者会と共に会議を持ち、準備をした	
保護者会と共催でたこあげ大会に向けて会議・制作を行った	
夏休み+始業式の8回・冬休み1回の合計9回実施	
卒館・退会する子どもたちの保護者を招待して実施	